

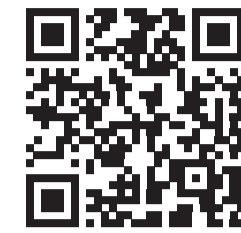


さくら会 News from Assembly 議会だより

2022
Spring

令和 4 年新春号

[さくら会ホームページ]



sakura-sakurakai.jimdofree.com

明神橋(6-108号線) 災害復旧工事に係る 変更契約の締結について



千葉リサーチパーク内の調整池に架かる明神橋は、令和元年10月の大雨でその一部が損壊、令和2年6月より復旧工事に着手していましたが、現場の地質状況などの事由により、工事を一時中止していた案件です。今回、工事内容を改め、約1,300万円増額する変更契約の締結に関する議案が提案され、その内容に

ついて精査するとともに、橋が市民生活や事業活動に欠くことのできない重要な社会基盤であり、一日も早い復旧が望まれていることに鑑み賛成しました。

なお、当該調整池においては、昨年の台風などで崩壊した法面の復旧工事も行われていましたが、本年11月9日の大雨により再度崩壊したとの報告を受け、11月15日、会派で視察しました。今後、法面修復に係る工事費が予算案として提案されることから、安全なインフラ整備の観点からしっかりと精査していきます。



3回目のワクチン接種 がスタートしました



新型株の出現やワクチン効果の低下など、新型コロナウイルス感染症に対して未だ楽観視できる状況ではありません。国内の新規感染者数は、オミクロン株による感染が確認されたこともあり、昨年末よりにわかに上昇、年明けからは、これまでの波を上回る勢いで増加しています。ここ佐倉市でも、1月3日、約1カ月ぶりの新規感染者が確認されて以来、新規感染者の報告が継続しており、その数は上昇傾向です。このような状況下、佐倉市でも3回目のワクチン接種(追加接種)に係る予算案が11月定例会で審議、可決し、1月より接種がスタートしたところです。ワクチン接種には賛否両論があり、実施の是非は個々の判断に委ねますが、市においては、希望する市民が、遅滞なく適切な時期に接種できるよう、去年の反省も踏まえ、万全な体制で臨んでもらいたいです。なお、追加接種の概要は以下の通りです。

- 対象者**
 - 2回目接種から8か月が経過した18歳以上の市民(約13万3千人)
 - 高齢者(65歳以上)は、2回目接種から7か月以上で対象
- 会場とワクチンの種類**
 - 個別接種(市内61の医療機関)…主にファイザー社製ワクチン
 - 集団接種(イオンタウンユーカリ、市民体育館)…主にモデルナ社製ワクチン
- 予約方法**
 - 各対象者には、1月中旬より「接種券一体型予約票」が届けられます。
 - 予約票を受け取った方から順次、市の予約システム、コールセンター及び各医療機関での予約が可能となります。
- その他**
 - オール佐倉・ワクチン接種予約応援プロジェクト
市内公共施設において、市の職員が予約のお手伝いをします。お気軽にご活用ください。
 - コロナワクチンもったいないバンク
貴重なワクチンを無駄にすることなく、当日キャンセル分を有効活用するため、急な接種に対応できる方の登録制度です。

令和4年度 予算編成について

[11月定例会
代表質問より]



西田市政がスタートして以来、災害対応と感染症対策に追われ、厳しい市政運営が続く中、令和4年度の当初予算に関し、どのような方針で予算編成に臨むのか質したところ、市民の安全・安心を守るため、感染症対策や通学路の安全対策などに万全を期すとともに、福祉や子育て支援といった重点施策にも配慮しながら、持続可能な財政運営を堅持し、令和4年度が市民に明るさと笑顔を取り戻す転機となるような予算編成としたい旨の答弁がありました。また、生産年齢人口が減少する中、歳入の約半分を占める市税収入の大幅な増加が期待できない状況下での財源確保や、持続可能な財政運営を堅持するための具体的な歳出削減策について質したところ、歳入においては、国や県の政策情報などを早期に収集し、本市の事業に有効な補助金を積極的に活用するなど新たな財源確保に努める一方、歳出においては、義務的経費等を除いた経常的経費のマイナスシーリングや政策的経費の厳しい取捨選択を図るなど、限られた財源を効果的に配分し、将来都市像の実現と、持続可能な財政運営の両立を目指して令和4年度当初予算の編成作業を進める旨の答弁がありました。

2月の議会 予定	議会運営委員会	2月15日(火)
	招集日	2月21日(月)午後1時から
	一般質問	2月28日(月)～3月 3日(木)
	常任委員会	3月 7日(月)～3月10日(木)
	予算審査特別委員会	3月14日(月)～3月17日(木)
最終日	3月22日(火)午後1時から	

ケーブルネット 296 では、初日・一般質問・最終日の模様を翌日午後 5 時 30 分から放送します(地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル)

12月臨時会 臨時特別給付金について審議

国の令和3年度補正予算(第1号)に計上された臨時特別給付金を早急に給付するため、急遽、12月臨時会が招集され、これら支給事業に係る補正予算について審議し、全会一致で可決しました。特に、子育て世帯に対する臨時特別給付金については、国の方針が二転三転する中、現金一括給付を即断し臨時会を招集、令和3年中での給付を実現したことを高く評価しています。この早期実現には、「国の方針や佐倉市の実情に照らした迅速な対応」を求めたさくら会からの申し入れなど、議会要望や市民ニーズに真摯に向き合い、適切に対応した結果だと考えています。一方、今回対象とならなかった子どもたちもおり、いかなる状況下でも、子どもたちが健全に成長できる環境の確保は重要です。引き続き、市には、市民や議会からの声に耳を傾け、真に市民が求めるまちづくりの実現に尽力されることを望みます。

事業概要

1 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業

『①住民税非課税世帯』及び『②家計が急変し、①と同様の事情にあると認められる世帯』を対象に、1世帯当たり10万円を支給する事業。

※『住民税非課税世帯』とは、令和3年12月10日現在、世帯全員の令和3年度分住民税均等割が非課税である世帯。但し、住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯は除く。

早期実施に向けて

子育て世帯及び住民税非課税世帯等に対する特別給付金支給事業



2 子育て世帯臨時特別給付金支給事業

0歳から高校3年生(平成15年4月2日から令和4年4月1日までに出生した者)を対象に、対象者1人あたり10万円を支給する事業。但し、その扶養者の所得が児童手当の制限限度額を超えている者を除く。



議員 岡野 敦	議員 高藤明美	副議長 高木大輔	議長 平野裕子	議員 石渡康郎	会長 中村孝治	幹事長 櫻井道明	議員 為田 浩	議員 敷根文裕	議員 密本成章
---------	---------	----------	---------	---------	---------	----------	---------	---------	---------

未来へつなぐ

佐倉市議会 さくら会
「さくら会」は、地方分権が進む中で、議員の倫理及び資質を高めて、佐倉市議会のより一層の充実を図るとともに、快適で安全な佐倉市を創ることを目的とする。

[さくら会会則第3条]

会派代表質問は
中面をご覧ください





為田 浩 議員

議会動画はコチラ

【8月定例議会】代表質問

令和2年度 決算等について



問 令和2年度決算では、実質単年度収支が5年ぶりに黒字となり、経常収支比率も1.1ポイント改善していますが、その要因をどのように分析しているか、また、大きな割合を占めた新型コロナウイルス感染症のための経費は何にどの程度であったか伺います。

答 経常収支比率は、地方消費税交付金等の増収により経常的な財源が増えた一方で、新型コロナウイルス感染症に伴う事業中止等で経常的支出が減となり改善しました。実質単年度収支は、経常経費の3%シーリングを行うことなどで黒字に転じたと捉えています。感染症対策経費は、特別定額給付金、ワクチン接種体制整備、中小事業者支援など全体で67事業、約198億円で、その財源は国・県からの交付金等を最大限活用しました。

道路の 維持補修について



問 市民の皆様や自治会等から市に寄せられるご意見やご要望は、道路に関するものが大変多いと伺っています。私のところにも、地域の方から道路や道路に関連するご相談は多数いただいています。その主たる要因は道路の劣化ではないかと思いますが、道路の劣化状況はどのようになっているか、また、自治会等から数多くのご要望が寄せられる中で、限られた財源で、どのように道路の補修を進めていくのか伺います。

答 道路の劣化状況は、令和元年度に調査し、劣化道路は約48km(調査延長の1/3)。道路補修に関する要望は、側溝やカーブミラーなど令和2年度実績で1,900件を超えました。優先度の高い案件から実施していますが、翌年度に繰り越すものが年々増加傾向にあります。道路維持補修は喫緊の課題と捉えており、

道路新設事業の進捗状況を勘案しつつ、積極的に取り組めます。

通学路の 安全について



問 登下校時における児童生徒の安全確保について、佐倉市ではどのように取り組んでいますか。また、今後どのような対応、対策を考えているか伺います。

答 通学路巡回、下校時のパトロールなどを毎日実施しています。今年度は8月4日、5日に通学路危険箇所20箇所の緊急合同点検を実施し、確認後、歩道整備や横断歩道設置等に関係機関等へ要望しました。今後、登下校時の見守り活動を強化するとともに学校からの整備要望や「通学路交通安全プログラム」に沿った通学路点検を行いながら子ども達の安全確保に全力で努めていきます。

防災専門官の 配置について



問 これまで、平時から災害に備え、災害対策本部長である市長が速やかに最終決断を下すことができるよう、重要な判断材料を明確に示せる、防災対策や減災対策についての実務と専門性を兼ね備えた方の配置が必要であることについて議会で申し上げてきました。そして、やっと今年度から危機管理課に「防災官」が配置されましたが、この防災官を配置することに至った経緯、背景や理由と、期待する効果について伺います。

答 市民の生命・財産を守るための防災対策のさらなる強化のため、防災官1名を公募し、千葉県での在籍経験者を5月から配置しました。災害から市民の生命と財産を守るとともに、大規模災害が発生した際の、市民生活の早期の回復に寄与するものと考えています。

ちば障害者等用駐車区画 利用証制度について



問 令和3年7月1日から、千葉県において「ちば障害者等用駐車区画利用証制度」（パーキング・パーミット制度）をスタートしましたが、当制度の概要と、導入された背景、及び佐倉市の対応や現在までの申請件数について伺います。

答 公共施設や商業施設などに設置されている障害者等用駐車区画を必要とする障害者、妊産婦等に利用証を交付することで、障害者等用駐車区画の適正利用を図る制度です。千葉県では今まで障害のある方などの駐車区画の不正利用を減らすために利用者のマナーの向上や駐車場管理者による適正利用に向けた対策強化など様々な取り組みを行ってきましたが、十分な効果が得られないことから、令和3年7月から導入しました。利用証の交付については窓口申請は市町村、郵送申請の場合は県へ。障害福祉課、介護保険課、母子保健課などが窓口となっており、ホームページ等を通じて本制度を周知しています。7月末現在の申請件数は39件であり、窓口にて即日交付しています。

4月からの家庭ごみの 収集方法の変更について



問 市民生活に非常に密接にかかわるごみの収集については、令和4年の4月から収集方法の変更を行うという事でしたが、変更に至った経緯、市民の皆さんの負担やメリットなど、具体的な内容について伺います。

答 家庭ごみ収集方法の変更については、市民意識調査などによる意見を踏まえ、利便性の向上を図るとともに、資源物のリサイクルの推進、ごみの分別の徹底と減量化を推進するため、実施しようとするもので変更点は3点。
①ペットボトルは現在の21か所の拠点回収から、その他プラスチック製容器包装の指定ごみ袋を使った約3600か所での集積所収集に変更。市内全域を網羅することとなり、大幅に利便性が向上するとともに、リサイクルの推進が図れる。
②指定ごみ袋のサイズ変更で、もやせるごみのうち、20リットルサイズを15リットルサイズに変更し、ビンとカンは、15リットルサイズを追加する。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。
③うめたてごみの第5木曜日の収集を廃止とする。



中村 孝治 議員

議会動画はコチラ

【11月定例議会】代表質問

新型 コロナウイルス 感染症対策に ついて



問 市民生活等が以前の活気を取り戻しつつある一方で、いわゆる第6波の到来が懸念される中、市はどのように対策をしているのか伺います。

答 10月27日に医師会や市内医療機関、消防組合と、第6波に備えた市内医療提供体制について意見交換を行い、それぞれの役割を再確認しました。今後も、印旛保健所、医師会、市内医療機関などの関係機関と連携し、医療提供体制の確保やワクチン接種体制の構築に努めます。

問 文部科学省によると、新型コロナウイルス感染症の感染回避のため長期間登校しなかった小中学生は2万905人とのことです。新型コロナウイルス感染症が子どもたちの生活や心に大きな変化を与えたことは明白であり、丁寧な対応が求められます。市内で感染症への不安を理由に登校を控えている児童生徒の実態と対応について伺います。

答 新型コロナウイルス感染症への不安を理由に登校を控えている児童生徒は減少傾向で、11月18日時点で小学生が1名、中学生が2名です。対応としては、タブレットを活用した授業配信や学習プリントの配布など、一人一人の実情に応じた教育支援を実施しています。

会派の 意見

11月議会

【発議案第9号】
明神橋(6-108号線)災害復旧工事に係る
専決処分事項の指定について

今後の観光施策に ついて



問 コロナ禍に進んだ「マイクロツーリズム」(身近な地域への観光)の影響で、地域の良さが見直されています。市内の観光資源を掘り起こし、紹介することで、地域活性化につなげることができると考えますが、市の考えを伺います。

答 市内の観光資源を掘り起こし、多様な魅力を提示していく事は、地域の活性化にも役立つと考えています。現在、白井地区で毎年2月に行われる雷電為右衛門(佐倉ゆかりの江戸時代の名力士)の法要に合わせ、雷電の出身地の長野県東御市と協力して物産展とスタンプラリーの開催を計画中であり、これを多様な佐倉の魅力を伝える第一歩として取り組んでいきます。

(仮称)佐倉西部 自然公園について



問 佐倉西部自然公園の整備が進んでいないことは、これまで会派として再三指摘しています。整備を進めるためには用地取得に関する方針の見直しが必要と考えますが、市の考えを伺います。

答 佐倉西部自然公園整備基本計画は、策定後十数年が経過していることから、基本計画の見直し検討を始めました。用地の取得方針は、地権者の意向確認が全体の約8割完了したことや、公園区域内の環境悪化が懸念されることから、今後、基本計画の見直しと併せ、必要に応じて買い取りによる用地取得についても検討していきます。

要望 公園区域は環境悪化の懸念を抱えており、この豊かな自然環境を守るためには、一刻の猶予もないと思います。市は、公園整備基本計画の見直しを行う中で、環境保護のために必要な用地は、積極的に購入を検討するよう要望します。

11月定例会において明神橋(6-108号線)災害復旧工事に係る変更契約の締結を全会一致で可決しましたが、市長から、今後、4,500万円以内の変更契約を締結する場合には、市長が専決処分することができる事項に指定してもらいたい旨の要請がありました。「専決処分の指定」とは、端的に言えば、議会が持つ議決権を議会自らが市長に委ねる行為であり、その判断は慎重であるべきと考えています。さくら会では、次の観点を踏まえ判断しました。

南志津保育園の 民営化について



問 市では、老朽化が進む南志津保育園を民営化することとしていますが、進捗状況と今後の予定について伺います。

答 南志津保育園の民営化にあたっては、「佐倉市子育て支援推進委員会」で議論をいただく中、ガイドラインや要領に基づき事業者を公募し、慎重に検討した結果、移管先候補者を決定しました。今後は、令和6年4月1日の開園を目指し、施設整備を進めます。運営については、事業者と保護者、市で組織する三者協議会にて運営方針など詳細の確認を行うことで、子どもたちにとっても保護者にとっても円滑な保育の引き継ぎが実現できるよう努めます。

要望 民営化にあたっては、保護者の理解や新しい園が設置される近隣住民等の理解が十分得られるよう、慎重に進めてください。

介護給付費 財政調整交付金に ついて



問 介護給付費財政調整交付金の算定誤りに関する報道発表がありました。発生の経緯とその要因について伺います。

答 交付金算定に用いる基礎数値の取り違いにより発生したものです。また、算定から申請までに適切な確認作業が行われなかったこと、高齢者施設で発生したクラスター対応等により、一時的に人員不足が生じていたことも要因であると分析しています。

要望 最も大事なことは事務処理誤りを繰り返さないことであり、組織全体で再発防止に取り組むことを要望します。

①当該橋梁が、長期間に渡り閉鎖されていることで、地域住民や周辺企業に大きな負担をかけている実態があり、その早期解消が重要である。
②損壊箇所への雨水の流入は継続しており、被害が懸念される。
③今回の指定が「明神橋災害復旧工事」のみを対象とした極めて限定的なものである。
以上のことから、議会運営委員会より発議することに同意、当該発議案は賛成多数で可決されました。